

農地・緑地の利用についての幼稚園・保育所の 現状と保育専攻学生の考えについての研究

杉浦 広幸

福島学院大学

Study on the Present Conditions and the Attitudes of Students of Early Child Care Education about Using Fields and Green Areas in Kindergartens and Nursery Schools.

Hiroyuki SUGIURA

Fukushima College

Summary

The fields and green areas requested by graduate students, those planned by students of early child care and education, and the present conditions for the development of horticultural activities at kindergartens and nursery schools were investigated in this study.

Questionnaires on activities in fields and green areas were handed out to kindergartens and nursery schools. The thought of students of early child care and education to design plans for fields and green areas in kindergartens and nursery schools were recorded by means of questionnaires.

Many kindergartens and nursery schools had fields for horticultural activity; 19.8% of the former and 56.8% of the latter had access to one outside of their school grounds. Students of early child care and education had many requests for impressive landscapes (e.g. symbolic trees), grassy areas and fields at kindergartens and nursery schools. Most of these students induced flower beds and fields in open spaces in their plans. Ninety percent of kindergartens and nursery schools had flower beds in their grounds.

The development of horticultural and agricultural activities is hopeful because many kindergartens and nursery schools already have ideal them installed. Moreover, students of early child care and education were understood the mean of them by a lecture in kindergartens and nursery schools.

Key words: agriculture, field, flower bed, horticulture, kindergarten, nursery school

園芸, 畑, 保育所, 花壇, 農業, 幼稚園

緒 言

園芸・農業活動は、子どもへの情操教育の手段として期待されている(松尾, 1998)。エコロジーを学ぶ場として、子どもにとって特にふさわしい‘教室’の一つはスクールガーデンであるとの考えがあり(センター・フォー・エコリテラシー, 2006)、幼稚園・保育所(園)における農・緑地の存在は重要といえるであろう。実際に、幼稚園や保育所では、従来から園芸・農業活動が行われてきた(脇田, 2005; 堀内, 2006)。

一方、子どものあそび場所やあそび方は、親の世代からと比べると急速に変化しており(山本ら, 2006)、子

どもが日常生活で園芸・農業活動に触れる機会は、減少していると推察される。幼児の95%は幼稚園・保育所で幼児期を過ごすため(青井, 2000)、それらで園芸・農業活動を実施すれば、日常生活での機会の減少を補うことができるであろう。

今後、幼稚園・保育所で園芸・農業活動を活発化させるには、幼稚園教諭・保育士になる保育専攻の学生への教育が重要となるであろう。本学では、2005年より保育専攻の学生に、園芸療法活動への参加や、園芸・農業活動を想定した幼稚園・保育所の緑地設計を授業に取り入れ、世代間交流や情操・環境教育を体験させる試みを行ってきた。さらに、保育専攻学生の実習のときに、幼稚園・保育所での園芸・農業活動の実施状況について調査させ、その活動を学ばせる取り組みを行ってきた。

2007年3月6日 受付. 2007年7月23日 受理.

本報告では、福島、宮城、山形、岩手、秋田の各県および東京都における幼稚園および保育所の農・緑地の現状について調査した。また、幼稚園・保育所で園芸・農業活動を活性化させるために、保育専攻の学生が、出身幼稚園や保育所に感じていた農・緑地への要望内容を把握するとともに、それらを実際に設計させ、設計内容を把握することにした。

調査対象および方法

1. 幼稚園・保育所で設置されている農・緑地の種類・特徴、栽培品目および目的

2006年に、幼稚園教諭と保育士の免許取得のための教育実習・保育実習で幼稚園・保育所へ出向く学生と、研修旅行で幼稚園・保育所を訪問する教員にそれぞれ質問紙を配布して調査した。また、一部の幼稚園（12か所）と保育所（13か所）については、著者が訪問調査した。調査対象は、幼稚園44か所、保育所81か所およびこども園3か所（地域別：福島県72か所、宮城県32か所、山形県15か所、岩手県5か所、秋田県1か所および東京都3か所）である。

花壇、プランター、藤棚、芝地、果樹園、畑、水田、ビオトープなどの農・緑地施設の種類の種類と特徴について把握した。畑は、幼稚園・保育所の敷地外に設置されている場合が見られたので、敷地の内か外かについて分別した。また、それらの農・緑地の設置および利用の目的について把握した。さらに、それらの農・緑地施設において、栽培している花きと野菜・作物の品目について調査した。

2. 保育専攻学生が出身幼稚園・保育所の農・緑地に感じた要望

2006年の保育専攻学生の授業（短大2年生対象‘総合演習’）で、幼稚園・保育所の農・緑地（花壇、プランター、藤棚、芝地、果樹園、畑、水田、ビオトープなど）の種類、設置目的および設置上の注意点を解説した上で、出身幼稚園・保育所の「あればよかったと思う農・緑地」に関し、質問紙法を用いて調査した。

調査対象2クラスの学生119名中、116名から有効回答を得た。

3. 保育専攻学生が設計した幼稚園・保育所の農・緑地の種類、特徴および目的

上記2と同じ授業で、受講学生が幼稚園・保育所の農・緑地の図面を作成し、OHCで発表した。調査対象の3クラス166名のうち158名分をまとめた。

学生が作成した図面の花壇、プランター、藤棚、芝地、果樹園、畑、水田、ビオトープなどの農・緑地の種類、設置目的および設計のポイントについて把握した。さらに、それらの図面の農・緑地で、学生が栽培を明示した花きと野菜・作物の品目についても把握した。

結果

1. 幼稚園・保育所で設置されている農・緑地の種類・特徴、栽培品目および目的

幼稚園の93.2%と保育所の90.1%において、花壇が設置されていた（第1表）。田畑は幼稚園で84.1%、保育所で88.9%であった。ただし、畑の設置場所は幼稚園では前記のうち56.8%が、保育所では同19.8%が敷地とは離れた場所であった。敷地から離れた場所は、遠くて不便であるが、広くて肥沃な土地が確保できていた（第1

Table 1. Percentage of kindergartens and nursery schools with installed fields and green areas already installed (%).

A. 幼稚園		B. 保育所	
園芸施設名	設置率	園芸施設名	設置率
花壇（野菜も栽培する場合4を含む）	93.2	花壇（野菜も栽培する場合4を含む）	90.1
畑（敷地外に設置56.8%を含む）	84.1	畑（敷地外に設置19.8%を含む）	88.9
プランター（野菜を栽培2を含む）	34.1	プランター（野菜を栽培4を含む）	27.2
棚（植物を這わせない棚は含まない）	27.3	棚（植物を這わせない棚は含まない）	22.2
水田（敷地外5を含む）	18.2	広い芝地（全面1を含む）	11.1
昆虫観察・遊び用の林	13.6	虫採り・遊び用草地	6.2
果樹（日除け棚を含まない）	11.4	水田（全て敷地外）	4.9
ビオトープ等水辺空間	6.8	花見会場	3.7
花摘み場	6.8	花摘み場	3.7
広い芝地	4.5	果樹（日除け棚を含まない）	3.7
虫採り・遊び用草地	4.5	ビオトープ等水辺空間	2.5
その他 ^v	4.5	その他 ^v	3.7

有効回答数：幼稚園44、保育所81、こども園3；花壇2、畑1、プランター2。

立木・庭園を除き、借地を含む（複数回答）。

^v虫採り用林、里山、防風林、記念樹林、庭園。

図)。ビオトープや里山などの自然な空間を設置した幼稚園・保育所もみられた。果樹は幼稚園・保育所とも少なかった。

花きの品目については、幼稚園・保育所ともにチューリップ、ヒマワリおよびアサガオが多かった（第2表、A）。野菜については、幼稚園・保育所ともサツマイモが多かった（第2表、B）。トマト、キュウリ、ナスなどサツマイモ以外の野菜は、幼稚園より保育所で多くみられた。幼稚園・保育所の花壇と畑で栽培されている花きと野菜の品目は、保育専攻の学生が設計した図面と、ほぼ一致していた。

幼稚園・保育所の花壇の設置目的は‘情操教育への活用’と‘景観の向上’が多かったが、‘バリケードとして’もあった（第3表）。また、畑の設置目的は、食育と情操教育および行事への利用が多かった。

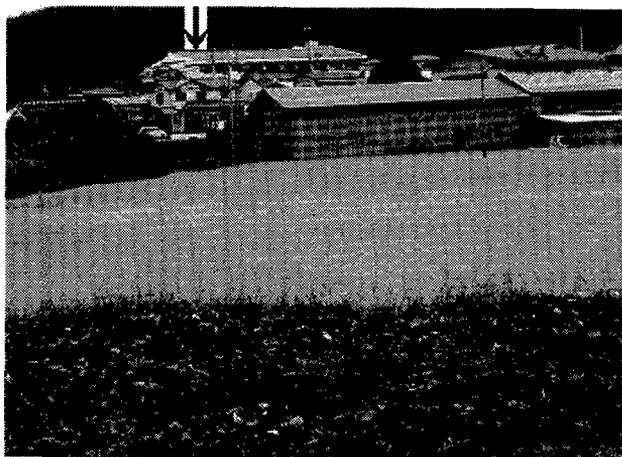


Fig 1. Field of sweet potatoes (foreground) away from the kindergarten. ↓: The kindergarten area situated behind the schoolhouse.
(Hanawa town municipal Sasahara kindergarten)

2. 保育専攻学生が出身幼稚園・保育所の農・緑地に感じた要望

保育専攻の学生で、出身幼稚園・保育所における農・緑地について要望を持った学生は、119名中116名であった（第4表）。最も多かったのは、立木に関するものが72件で、そのうち‘シンボルツリー（象徴的な大きな木）があればよかった’とする学生が最も多かった。以下、‘芝地が欲しかった’、‘畑に関する要望’そして‘花壇に関する要望’の順であった。畑に関しては‘無かったので欲しかった’が、花壇では‘もっと花壇が欲しかった’とする要望が最も多かった。

Table 3. Reasons for installation of flower beds and fields in kindergartens and nursery schools (including planter). (Multiple answers)

A. 花壇			B. 畑		
目的	幼稚園	保育所	目的	幼稚園	保育所
情操教育	32	61	食育	37	64
景観対策	21	47	情操教育	29	46
父兄交流	5	9	行事	23	35
世代間交流	1	4	父兄交流	10	8
クラフト用 ^Y	1	3	世代間交流	5	7
地域活動	1	3	クラフト用 ^Y	4	5
職員用	0	3	職員用	0	3
行事	0	1	理科教育	4	1
理科教育	0	1			
教員教育	0	1			
バリケード	1	1			
郷土愛養成	0	1			
無回答	1	1			

有効回答数：幼稚園35，保育所35，こども園2；食育1，行事2。
^Yリース，ドライフラワー，色水，ハロウィーン用飾り。

有効回答：幼稚園44，保育所77，こども園3；情操教育2，景観対策3。
^Yドライフラワー，色水，押花，スライム。

Table 2. Cultivated flowers, vegetables and rice grown in kindergartens and nursery schools (including pots and planters). (Multiple answers)

A. 花き			B. 野菜・作物		
品目	幼稚園	保育所	品目(別名)	幼稚園	保育所
チューリップ	18	17	サツマイモ	33	34
アサガオ	15	4	ダイズ(エダマメ)	14	7
ヒマワリ	14	7	トマト・ミニトマト	11	33
コスモス	9	3	ジャガイモ	10	10
サルビア	8	5	トウモロコシ	9	5
マリーゴールド	8	4	イネ	5	6
パンジー・ビオラ	5	1	キュウリ	4	19
スイセン	3	1	ナス	4	19
オジギソウ	2	0	トウガラシ(ピーマン)	3	15
ハボタン	1	1	スイカ	1	6
その他 ^Z	3	3	その他 ^Z	26	42

有効回答数：幼稚園20，保育所40。
^Z回答数1～2他の品目。

有効回答数：幼稚園45，保育所52。
^Z回答数1～2品目。

Table 4. Requests for fields and green areas by graduate students of early child care and education in their former kindergartens and nursery schools.

要望内容	要望数 (内訳の解説；上位4項目まで)
立木への要望	72 (シンボルツリー18, 遊び用の林17, ドングリ等実がなる木11, 多くの木を7)
芝地	37 (無かったので34, もっと広く5, 全面被覆2)
田畑	32 (無かったので10, 敷地内に8, もっと広く7, 他の作目を3)
花壇への要望	28 (多く7, 季節感のある花を6, 色彩を豊かに5, 遊び等への利用を4)
植物の棚 (藤棚)	20 (無かったので20)
池・ビオトープ	12 (ビオトープ7, 水あそび用5)
果樹	8
花摘み場	6
垣根	4 (敷地の仕切り4)
丘	4 (草付き2, 草なし2)
虫採り用草地	2
温室	2
敷地管理	2 (放置されていたので2)
庭園	2
要望なし	3 (必要なものは揃っていた3)

回答者数：119 (複数回答).

Table 5. Fields and green areas planned by students of early child education and care in kindergartens and nursery schools. (Multiple answers)

園芸施設の種類 (内訳の説明)	学生数
花壇 ^z	150
畑 (敷地内)	137
垣根	101
棚 ^y	96
芝地 (グラウンド全面被覆5)	89
シンボルツリー	85
植込	52
プランター	41
池 (ビオトープ20)	38
果樹 (小果実11)	34
ガーデンアーチ	7
ハーブ園	5
庭園	5
防風林	2
その他	3

有効回答者数：158.

^z子どもが作業不参加のものも含む.

^y植物を這わせない棚は除く.

自然の空間に関する要望も多く '虫採り・木登り・かくれんぼ用森林', 'ビオトープ', '虫採り用草地' および '花摘み場' の合計で, 29件あった.

また '敷地管理が放棄されていたので管理して欲しい' が2件あった.

3. 保育専攻学生が設計した幼稚園・保育所における農・緑地の種類, 特徴および目的

学生が設計した幼稚園・保育所の農・緑地の図面の中

Table 6. Cultivated flowers and vegetables in the fields and green areas planned by students of early child care and education in kindergartens and nursery schools (including flower pots and planters). (Multiple answers)

A. 花き		B. 野菜・作物	
品目	回答数	品目	回答数
チューリップ	131	サツマイモ	87
ヒマワリ	93	^z トマト	63
コスモス	80	ニンジン	18
パンジー ^z	76	キュウリ	17
アサガオ	39	ジャガイモ	16
マリーゴールド	33	^y トウガラシ	16
サルビア	31	トウモロコシ	14
スイセン	7	スイカ	13
マーガレット	6	ナス	13
ハボタン	6	イチゴ	9
その他 ^y	74	その他 ^x	43

有効回答者数150.

^zビオラ・スミレを含む.

^y回答数1~5の品目.

有効回答者数139.

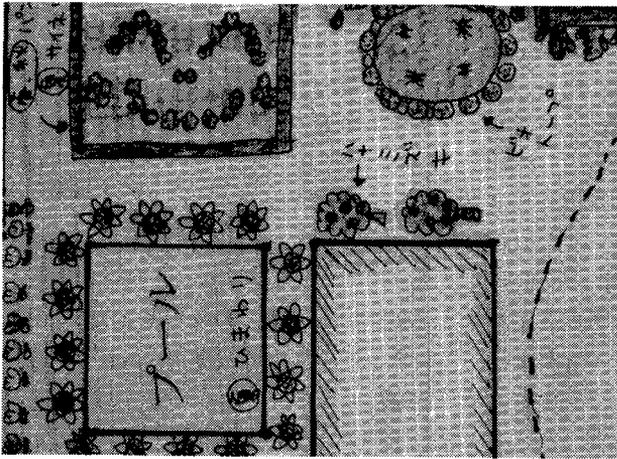
^zミニトマトを含む.

^y全てピーマン.

^x回答数1~5の品目.

に, 花壇は158名中150名が, 畑は137名が設置した (第5表)。また, 垣根, 砂場の上の日除け棚, シンボルツリーについては, 約2/3の学生が設置していた。果樹を植えたいとした学生は, 約1/4であった。池またはビオトープなど水辺を設けた学生も, 約1/4であった。

学生が設置計画した農・緑地における花きの栽培品目は, チューリップとヒマワリが多かった (第6表)。特に, プールの周囲にヒマワリを植えたいとする学生が多かった (第2図)。また, 野菜・作物については, サツマイモとトマト (ミニトマト) を植えたいとする学生が多かった。



↑ プール周りにおけるヒマワリの栽植

Fig 2. Green area with planted sunflowers surrounding a pool planned by a student of early child care and education.

考 察

幼児期に動植物に興味を持つことは重要であり、保育専攻の学生の多くが自然を好きであるとの報告もある(照屋, 2006)。保育現場では、幼稚園・保育所を自然に近づけ、子どもが日々自然に触れる環境として、園庭に農地を導入することも一つであると考えられている(小林ら, 2006)。さらに、保育現場では、食育と園芸・農業を組み合わせることで「食農保育」といわれる場合も認められる(野田, 2006; 山本ら, 2006)。近年、幼児期の自然との関わりへの関心は高まり、幼稚園・保育所では、園庭の緑地整備に関する研究がみられる(井上, 2006; 高橋ら, 2006; 田中, 2006)。これらのことから、多くの保育専攻の学生を教育する機関で園芸・農業活動を幼児教育の手法として取り入れる必要があると考えられる。

保育専攻学生が出身幼稚園・保育所に持った要望は、シンボルツリーやプール周りの花など印象に残る緑地の風景と、芝地やビオトープなど自然を生かしたあそびの空間に関するものが多かった。また、学生が設計した幼稚園・保育所の農・緑地においても、印象に残る風景やあそび場としての緑地を設けているものが多くみられた。このことは、今後保育者となるであろう学生が、幼稚園・保育所で農地・緑地が情操教育に利用されることを理解したためであろう。

本調査結果では、幼稚園・保育所の花壇や畑など園芸・農業活動への利用部分の設置目的の多くが、情操教育および食育といった、子どもの教育への利用であった。子どもが花や農作物を育てることにより、命を慈しむ心、農作物を育ててくれた人や調理してくれた人たちに感謝する気持ち、そして食べることへの喜びを感じさせる幼児教育法を保育現場で普及させることが、今後の幼稚園・保育所における園芸・農業活動の活性化に繋がるであろう。

以上の結果から、幼稚園・保育所では畑を敷地外に借

りるなど工夫しながらも多くで園芸・農業活動を行っており、保育専攻の学生への教育で農・緑地の意義を理解させることができた。

摘 要

幼稚園・保育所での農業・園芸活動の活性化のため、農・緑地について、現状と保育専攻の学生が幼児期を振り返って出身の幼稚園・保育所で感じた要望と、彼らが設計した内容について調査した。

幼稚園・保育所での園芸活動は、訪問による質問紙と聞き取り法で調査した。また、保育専攻学生が出身幼稚園・保育所に感じた農・緑地への要望は質問紙により調査し、幼稚園・保育所の農・緑地の設計図面を作成させた。

花壇は、90%以上の幼稚園・保育所で設置されていた。幼稚園・保育所とも、その多くで園芸活動用の畑を持っていたが、前者の19.8%と後者の56.8%が敷地外に設置されていた。保育専攻の学生が出身幼稚園・保育所に感じた農・緑地への要望は、シンボルツリーなど印象に残る風景、芝地に関する事、そして畑に関する事の順であった。保育系の学生に、幼稚園・保育所の敷地を設計させたところ、その多くが花壇と畑を設置していた。

以上のことから、幼稚園・保育所では畑を敷地外に借りるなど工夫しながらも多くで園芸・農業活動を行っていた。今回の試みで、保育専攻の学生に農・緑地の意義を理解させることができたため、保育における園芸・農業活動はさらに活性化すると期待された。

引用文献

- 青井倫子. 2000. 幼児の遊び環境としての幼稚園・保育所. p.74. 松澤員子(編). 子どもの成長と環境. 昭和堂. 東京.
- センター・フォー・エコテラシー. 2006. 食育菜園 エディブル・スクールヤード マーティンルーサーキングJr.中学校の挑戦. ペブル・スタジオ(訳). pp.4-9. 家の光協会. 東京.
- 堀内幸弘. 2006. 保育活動に園芸を導入する梶原ピッコロ保育園の取り組み. pp.168-170. 園芸福祉 実践の現場から. 日本園芸福祉普及協会(編). 創森社. 東京.
- 井上美智子. 2006. 環境教育の視点から自然との関わりをとらえ直す. 保育学会59号論集: 254-255.
- 小林茂樹・大木有子・倉田 新・野村明洋. 2006. 食農保育-たべる たがやす そだてる はぐくむ-. pp.64-65. 農山漁村文化協会. 東京.
- 松尾英輔. 1998. 園芸療法を探る-癒しと人間らしさを求めて-. pp.59-62. グリーン情報. 東京.

- 野田知子. 2006. 食育・食農教育のための実践テキスト「食べもの」から学ぶ, p.118. 明治図書出版. 東京.
- 大澤 力. 2006. 子どもと自然のかかわりについての研究6－ハノーバーにおける幼児期自然教育関連施設の一考察. 保育学会59発論集：252-253.
- 高橋智子・榎 英子・銀 玲子・中沢 潤. 2006. 園庭環境とのかかわりから幼児が獲得する力. 保育学会59発論集：926-927.
- 高田憲治. 2002. 自然と触れ合う環境づくりの実践と課題－子どもと自然と保育者の動的・相対的な実践研究－. 保学研. 41(2)：93-101.
- 田中敬子. 2006. 豊かな感性を育む保育－自然を呼び込んだ園内環境の工夫(1)－. 保育学会59発論集：258-259.
- 照屋健太. 2006. 保育科の学生における自然観－自然観察後のアンケート調査から－. 保育学会59発論集：118-119.
- 脇田町子. 2005. 自然とのかかわりを通して感性を育てる(おもしろ保育を通して). 保育学会58発論集：558-559.
- 山本俊光・森啓一郎・松尾英輔. 2006. 保育所における園芸の保育効果 福岡市の事例から. 人間・植物関係学会雑誌5(2)：13-18.